

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 静岡で暮らす気持ちのいい家

グループの名称 OMソーラー静岡2015

直近採択グループ番号 06-0497-0439

(グループ代表者)

代表者名	飯田 祥久	代表者印
代表者所属先	OMソーラー株式会社	
代表者所在地	静岡県浜松市西区村楯町4601	
代表者電話番号	053-488-1700	

(グループ事務局)

事務局事業者名	OMソーラー株式会社	
事務局担当者名	勝野 秀之	印
事務局郵便番号	431-1207	
事務局所在地	静岡県浜松市西区村楯町4601	
事務局電話番号	053-488-1700	
事務局FAX	053-488-1701	
事務局担当者E-mail	katsuno@omsolar.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	静岡で暮らす気持ちのいい家
2. グループの名称(必須)	OMソーラー静岡2015
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0497-0439
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県全域
5. 結成年(必須)	2000 年
6. グループ代表者名(必須)	飯田 祥久
7. グループ代表者の所属先(必須)	OMソーラー株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	静岡県浜松市西区村楠町4601
9. グループ代表者電話番号(必須)	053-488-1700
10. グループ事務局事業者名(必須)	OMソーラー株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	勝野 秀之
12. グループ事務局郵便番号(必須)	431-1207
13. グループ事務局所在地(必須)	静岡県浜松市西区村楠町4601
14. グループ事務局電話番号(必須)	053-488-1700
15. グループ事務局FAX番号(必須)	053-488-1701
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	katsuno@omsolar.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	10	
II. 製材・集成材製造・合板製造	14	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	9	
IV. プレカット	6	
V. 設計	7	
VI. 施工	7	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
	静岡県産材	静岡県全域	静岡県産材証明制度	1	国内	
	しずおか優良木材	静岡県全域	しずおか優良木材証明制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		25	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	25	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		13	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	13	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
					0	m ²			
均等の配分とする。									
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	12	戸	交付申請戸数	12	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	優良建築物型								
	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸
採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 静岡で暮らす気持ちのいい家	（地域型住宅供給対象地域） 静岡県全域
2. グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称） OMソーラー静岡2015	（結成年） 2000年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0497-0439	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	◎
④①～③の背景	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
a	
①-1 用材の寸法規格化	◎
①-2 使用建材の統一	◎
①-3 標準仕様の設定	
②-1 建材・資材調達の見直し	◎
②-2 調達事務の合理化	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	○
b	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	○
c	
① 週休2日制の導入の取組	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	○
③ 社会保険への加入	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 静岡で暮らす気持ちのいい家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県全域	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) OMソーラー静岡2015	(結成年) 2000年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0497-0439		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一般社団法人JBNの住宅履歴「いえまもり・かるて」ほか住宅アカデミアの「ハウジングプロバイダコア・HPC」にて住宅履歴情報の管理を確実にしています。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の「施工要領書」「標準詳細図」を利用し、グループ内の各社がメンテナンスのバックアップを取れる体制を構築します。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡し後の維持保全計画を立てメンテナンス管理をより強化します。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 過去の点検・補修内容等の住宅履歴データを整備し、定期的な確認を行います。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「住まいのメンテナンス手帳」を引き渡し時に住まい手に渡し、各部位のメンテナンス時期の重要性をご理解いただき、住宅の長寿命化を図ります。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅維持管理を目的とした施主による床の補修、木部への塗装等のDIY体験会を実施します。	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持・管理やリフォームなどを視野に入れた資金計画セミナーなどを実施します。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で維持管理に関する情報を共有化し、グループ内施工会社の倒産時にはその情報を基にメンテナンスの引き継ぎを行い、住宅の維持管理を行います。	◎	
	⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: OM総合保証株式会社による完成保証を利用します。工事途中で施工会社が、その義務を遂行できない状況に陥った場合、OM総合保証加盟工務店のネットワークを生かし、完成までを保証します。	◎
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 株式会社ハウスジューンより発行の「木造軸組工法 設計・施工基準及び解説書」を元にした勉強会を実施します。		○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		グループとして共通のメンテナンス体制の構築、住宅履歴情報の保存を今後も研究を続けマニュアル化を目指します。	○
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研究会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現在、グループ内には未経験工務店がおりませんが、今後も未経験工務店をグループに勧誘し地域材の利用の促進をはじめとする低炭素化の環境作りに貢献します。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 完成保証制度・地盤保証制度・住宅瑕疵担保責任保険の付保を必須とします。	◎	
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 約2カ月ほど一度「OMソーラー静岡県会議」という名称で勉強会を開催し、上記ルールの周知徹底を図ります。	◎
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で空気集熱式太陽熱利用システムにおける価格の明示、機器設置の推進を行い、低炭素社会づくりに貢献します。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 太陽熱利用により暖房負荷、給湯負荷を低減し、2020年までに50%以上となるようZEHの普及に努めます。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ③に基づく機器設置においては共通の温熱プログラムを使用します。竣工後はそれらの温熱データをWEBにて公開します。	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 24 今年度の参加目標人数 5		
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 24 今年度の参加目標人数 5		
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の連絡は共通のメールアドレスで行っています。これからも講習会の情報等をこのツールを利用していきます。	○	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 太陽熱による暖房・給湯のより一層の省エネ率向上を図るため既存住宅に対し、高性能断熱材、高機能パンプ蓄熱建材及び戸建住宅用太陽熱活用システムを導入します。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)より採択された熟活用実証事業の実証モデルハウスにて温熱環境を継続的に計測しています。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		施工の合理化を推進するため、事務局にて太陽光発電空気集熱式太陽熱利用システムに関する施工指導を行っています。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)		(地域型住宅の名称) 静岡で暮らす気持ちのいい家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県全域	
2. グループの名称・結成年月 (必須)		(グループの名称) OMソーラー静岡2015	(結成年) 2000年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)		06-0497-0439		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与				
【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 地域材利用に関する共通ルール (必須)	主要構造材(柱・梁・横架材)に「静岡県産材」「しずおか優良木材」「PEFC-COC認証制度材」を使用します。	◎	
	② 地域材利用の1棟当たりの割合 (必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎	
	③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎
		羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
造作材		枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している		
板材		壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している		
④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	特になし。			
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員より在庫情報を入力しグループ内で共有化します。	○	
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員より価格情報を入力しグループ内で共有化します。	○	
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 一棟当たり約15㎡の主要構造材として地域材を利用すると仮定し各社5棟を竣工すると75㎡×8社=600㎡の地域材を使用することになります。	◎	
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:		
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:		
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:		
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 80枚	○	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:		
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:		
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:		
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:		
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: もともと日本の家屋は南面に屋根の勾配を設ける伝統がありますが、それらの街並みと調和するデザインを推進します。	○	
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材を取り入れた「材」の持ち味を活かし、和のデザインやモダン和風のデザインへとつながる家づくりに励みます。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				
カ. その他				
【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
東日本大震災の復興に資する取組	復興支援はグループ各社の共通の「強い想い」であります。具体的に東北被災地製造の「床合板」の使用をグループ内で推奨し、復興支援として寄与していきます。		○	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	熊本県内で空気集熱式太陽熱利用システムに取り組む工務店に対し、各種建材ならびに義援金を提供し、復興支援に寄与していきます。		○	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 静岡で暮らす気持ちのいい家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) OMソーラー静岡2015	(結成年) 2000 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0497-0439	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>●暖房負荷と電力負荷の削減 空気集熱式(OM)ソーラーシステム+太陽光発電のハイブリッド。 空気集熱式(OM)ソーラーシステムでは軒先から入った外気を屋根面で暖めその熱を床下の蓄熱層に貯め、暖房負荷を削減しつつ床暖房の快適性を得ます。この屋根集熱面に太陽電池パネルを設置する事により、電気と温風を同時に作り出します。太陽光パネルの発電時の熱も、集熱として利用でき且つ、太陽電池裏側の温度上昇を抑えられることで発電効率が上がり、太陽エネルギー利用効率の向上に貢献します。</p> <p>●給湯負荷の削減 太陽熱利用給湯により、ガス・灯油・電気の使用量を削減します。</p> <p>●冷房・換気負荷の削減 晴れた日の夜は、放射冷却によって屋根面が冷えます。この放射冷却を利用して、温度の下がった屋根面の空気を室内に取り込みます。また、高効率エアコンを利用し冷房エネルギーを抑えます。</p> <p>■パッシブソーラーデザイン・設計・アメダス気象データの活用と全棟熱性能シミュレーション パッシブソーラーデザインを行うツールとして、シミュレーションソフトを開発しています。解析した日本全国842地点アメダスデータを利用し、地域の風、日射を生かしたデザインを行います。全棟、年間暖冷房負荷と空気集熱ソーラーのシミュレーションを行うことにより、熱性能を確認します。</p> <p>■電力負荷低減のための低消費電力照明の導入 建物内の照明から白熱電球を撤廃する。(レンジフードなどの機器に組み込まれているものを除く)</p> <p>■住い手のプロジェクトへの参加 住宅の省CO2化には、住宅の高性能化(高断熱・高气密)、高性能機器の導入も重要だが、これに加えユーザーの協力が不可欠である。そこで本提案では、制御盤・インターネットを通じてシステムが生み出すエネルギーをデータ化・見える化を通じてユーザー意識を高める取り組みを行う。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。